

二〇一三年三月二十七日(参加者一三名)

まなびやの塔抽ん出し花の雲 菜々

ロザリオの丘へ誘ふ花の坂 "

花ミモザルルドの MARIA 像の辺に "

草萌の丘の要に MARIA 像 "

百年の白亜の学舎風光る "

躑躅咲き雑木の山に色添へる わかば

ロザリオの丘もとほれば初蝶来 "

花の下額づく小さき MARIA 像 百合

ぺちやくちゃと花の道行く吟行子 "

花守となりし守衛に一礼す 英一

ロザリオの丘の四方より囀れる "

花の昼窓から洩るる聖歌かな 宏虎

学舎へと坂がかる道花盛り ひかり

トラピスト島の真中に山菜莢黄 ぼんこ

初蝶来 MARIA の像の裳裾恋ひ うつぎ

楠若葉白亜の塔と並び立つ 小袖

雪柳なびく小聖堂への径に せいじ

風光る双手ひろげしイエス像 満天

老松の裳裾となりて山つつじ はく子

ひた走る部活乙女ら花の昼 "

ミモザ咲くほとりルルドの MARIA 像 "

定例会の選

二〇一三年三月二十七日(参加者一三名)